

昨年度の六甲山系でのナラ枯れ被害拡大をふまえ 今年も勉強会を開催しました！

H29.6.16

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

六甲山系でナラ枯れ被害が確認されて、今年で約7年になります。事務所の調査では、ナラ枯れによる枯死木の数は年々増加傾向にあり、兵庫県や関係各市とも連携した対応が必要となっています。

今回、六甲山系でのナラ枯れ被害の現状や具体的な対策を共有する目的で勉強会を開催し、自治体職員の方とも活発な意見交換を行いました。



ナラ枯れにより枯死した樹木

- 開催日：平成29年 6月16日（金） 10時30分～16時00分
- 参加者：32名（兵庫県・神戸市・芦屋市からの参加者含む）
- 内容：午前一室内勉強会、午後一芦屋市三条地区での現場説明

○午前：室内勉強会（六甲砂防事務所）

森林総合研究所 衣浦晴生先生より、カシノナガキクイムシ（以下、「カシナガ」という）の生態やカシナガにより発生するナラ枯れのメカニズムの説明を受けました。また、近年の具体的な取組みや対策に使用する薬剤等の効果検証状況など、専門的な説明をしていただきました。

また、六甲砂防事務所で開催してきたナラ枯れ調査手法や抑制対策の説明を行い、今年度新たに試行するペットボトルによるトラップの設置や、その捕獲状況について共有しました。

○午後：現場説明（芦屋市三条地区）

ナラ枯れ被害抑制対策を重点的に実施している三条地区において、トラップの設置状況を確認しました。また、実際にシートやペットボトルにより捕獲されているカシナガの確認も行いました。

現場では対策を実施する際のやり方や注意点について、より具体的な議論ができました。

○粘着シートによるトラップの設置状況



○ペットボトルによるトラップ設置状況



○衣浦先生による説明

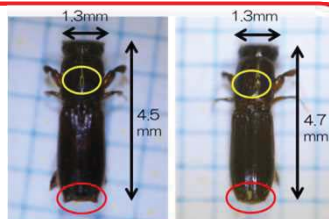


説明会参加者の感想等

- ・ナラ枯れによる枯死木について、薬剤を用いて適切に処理しないと、再びカシナガの発生源になることが理解できた。
 - ・現地で実際にカシナガを確認でき、被害状況が実感できた。
- また、自治体職員の方からも対策の不明点や疑問点について活発な質問がありました。

■ナラ枯れとは・・・

カシナガが病原菌を伝播することによって、ミズナラ・コナラ・カシ類を中心に枯死させてしまう樹木の伝染病です。



カシナガ（左：オス、右：メス）

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

